

きょうはエディット代表交代セレモニーに出席していただき、ありがとうございました。

お世話になりました。

ことしで私は77歳になりました。

皆さんから、ありがたいことに「社長、小林さんは若いですね。若く見えますね」とよく言われます。

中身はけっこうガタガタですが、その秘密や秘訣を話し始めると長くなります。

また別の機会にします。

さて、出版業界に入って55年、

受注編集稼業に携わって40年、

エディットを作って35年、

編プロの業界団体・日本編集制作協会AJECに加盟して、やはり35年、

AJECの理事・役員は20年、

代表理事も6年、勤めました。

また、専門学校の編集講師業は17年、

自分の本『なる本「編集者」』を書くきっかけになりました。

仕事した場所は、名古屋をスタートして、

大阪・谷町、東京・新宿、京都・四条大宮です。

6年後にまた名古屋に戻ってきました。

私の「編集放浪時代」です。

大学を卒業して以来、出版・編集業界の底辺を歩いてきました。

歩いてきたというより、突っ走ってきた感じです。

いまの心境は「日暮れて道遠し」。

出典は中国の古典「史記」にあるようですが、年を取ったのに、人生の目的はなかなか達せられないという意味です。

「日暮れて道遠し」、英語で言うと、It's nightfall and I'm far away. The sun sets and the road is long. となるらしいですが、やりたいことや行きたいところはまだまだ先にたくさんあるけれど、だいぶ歳を取ってしまったなあ、という思いです。

皆さんに語りたいことは山のようにあります。

しかしそんな時間も機会も残念ながらあまりありません。

きょう皆さんにお渡ししたのは、エディットの34年の歴史、私の編プロ稼業40年の歩みを年表と私の年賀状でまとめたものです。

興味のある人はご覧ください。

エディットの歩みと私の編集者としての生きざまを知ってもらえると嬉しいです。

また、この会が終わり、退室されるとき、いつもの袋菓子のお土産に加えて、小さな木玉を皆さんに渡します。

私は外国や日本の観光地に出かけたとき、記念にお土産を買いますが、そのとき選ぶ目安は「丸いもの」です。

球形の置き物です。

私はまあるいものが大好きです。

私の社長室にも私のマンションにも、丸い置き物がいっぱいあります。

私はまがりなりに哲学科の専攻ですが、世界の根源は何か、世の中の真実、正しいこと、美しいものは何か、いわゆる真善美をそれなりに考えてきました。

答えとしては、それは「球」ではないかと思いました。

宇宙も太陽も地球も丸いです。

自然もすべて丸味を持っています。

美しいものはみんな丸いです。

人間の心も丸くあるべきです。

幸せも丸くあって欲しいです。

エディットは「縁」という字をキーワードにしてやってきました。

きょうのしおり、歩みの資料にも載せましたが、エディットのカタログや名刺にも「縁」を使っています。

私もエディットも、「縁」を大事に生きてきました。

たくさんの「縁」に恵まれました。

縁は宴会の宴、ほのおの炎、色恋の艶でもあります。

お金や図形の円、まあるいものの円でもあります。

円の究極は立体の円すなわち球、丸い玉、玉（ぎよく）です。

きょうお持ち帰っていただく木玉には、皆さんに幸せになって欲しいという思い・願い・願をかけてきました。

きのう木玉に一生懸命に念じてきました。

ご利益があるとうれしいです。

皆さんのおかげで、エディットは34年間、何とかやってきました。

素晴らしい社員やスタッフ、メンバー、外部の皆さんに恵まれました。

とても感謝しています。

また、それなりに健康と運にも恵まれました。

しかし一言で言えば、夢と危機感、そんな34年でした。

どちらかという、夢よりも危機感が原動力でした。

毎日、毎週、毎月、毎年、給料は払えるだろうか、仕事はあるだろうか、いろいろ心配し続けてきました。

その結果がいまのような気がします。

これからは代表を高取葉子に交代します、パトンタッチします。

よろしくお願いします。

さて、これから私はどうするか。

皆さんの相談役や業界の活動は続けさせていただきますが、

私はもう1つ、アルファ・コーポレーションという有限会社を持っています。

20年以上前に作った会社ですが、しばらくは休眠にしていました。

じつは、きょうエディットの創業時に借りたフリーベルマンションの1室を、アルファ・コーポレーションのオフィスとして、また借り直しました。

きょうその鍵をもらいました。

アルファ・コーポレーションで何をするか、いろいろ思いはありますが、まだ何一つ決まっていません。

エディネットやダンネットの復活など、「編集」をキーワードにした「ITネットビジネス」ができればいいなとは思っています。

とりあえずは先日亡くなったエディットのいちばんの同僚、パートナーだった上田尚さんの遺品の一部をまとめて、ささやかながら「上田文庫」みたいなものができればいいなと思っています。

上田さんは膨大な書籍やレコード、CDなどを残されて亡くなりました。

それらが雲消霧散してしまうのは忍びないと思いました。

遺族のかたの了解もいただきました。

あさって11/17に、山本さんと坂さんに、上田さんの自宅の大垣に行って、貴重な遺品をフリーベルに運んでもらいます。

話は長くなり過ぎました。

皆さん、お世話になりました。

ありがとうございました。

いずれにしましても、次期代表を務める高取葉子をよろしく申し上げます。

本人は社労士の佐藤文子さんの紹介・勧めもあって、愛知県の中小企業の社長の集まりである愛知中小企業家同友会に入り、積極的に会社経営の勉強をしています。

また私とは違った形で、エディットの管理・運営を行っていくと思います。

まだまだトップリーダーとしては未熟ですが、皆様のご支援・指導・協力・サポートをせつにお願いいたします。

一人前の代表に育ててやっていただきたいと思います。

本日はありがとうございました。